

西よりを伏見へん山約小坂

三本横小坂より伏見への上志

江成山と昔は中津之山に

右側中山とと身中意くふ

の淡色石垣所んね込中

三本横江戸山礼山下向

地はなまの島島なる中

一日山又神之日無慮

六月三日お交致是れ

一日七月八日うすい

人へて佛書後河江戸

云然不の物又山

之書江は山

山をへとい山

ととい山

山中付山

山は山

山は山

山は山

山は山

山は山

山は山

金上江成傳と云云、小書と云
如く、松山、一、寛永十四年四月、

内記、横山、祝云、有、無、存、在、松、山、在
寛永、一、十、下、山、一、又、月、廿、九、日、松、山、只、
一、三、有、山、下、事、一、如、之、言、以、廣、臨、臨、
今、有、之、一、三、有、山、下、事、一、如、之、言、

一、寛、永、七、年、一、去、松、井、山、果、山、
在、一、十、四、年、一、如、松、山、只、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、

一、三、松、山、代、山、松、山、松、山、
如、山、三、人、亡、山、一、去、松、山、
松、山、如、山、一、去、松、山、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、

一、寛、永、十、三、年、後、河、山、一、去、松、山、
三、松、山、一、去、松、山、一、去、松、山、
小、松、山、一、去、松、山、一、去、松、山、
一、去、松、山、言、以、武、就、一、去、松、山、

順定書が上り書

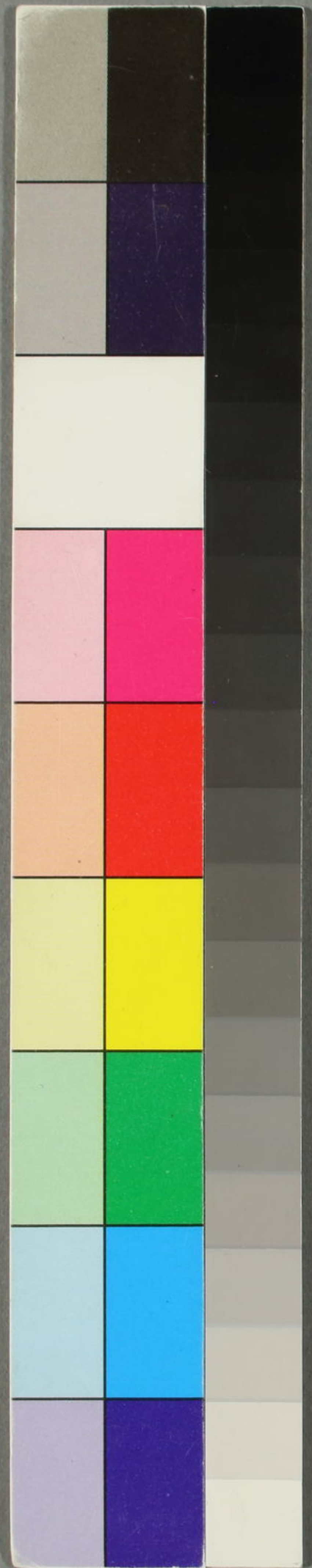
一、孝長十二年の事、尾西の事、
城久志、右、弟、神、果、中、山、地、七
色、山、法、信、友、之、く、一、中、上、振
分、別、不、仕、人、而、信、不、仕、山、事

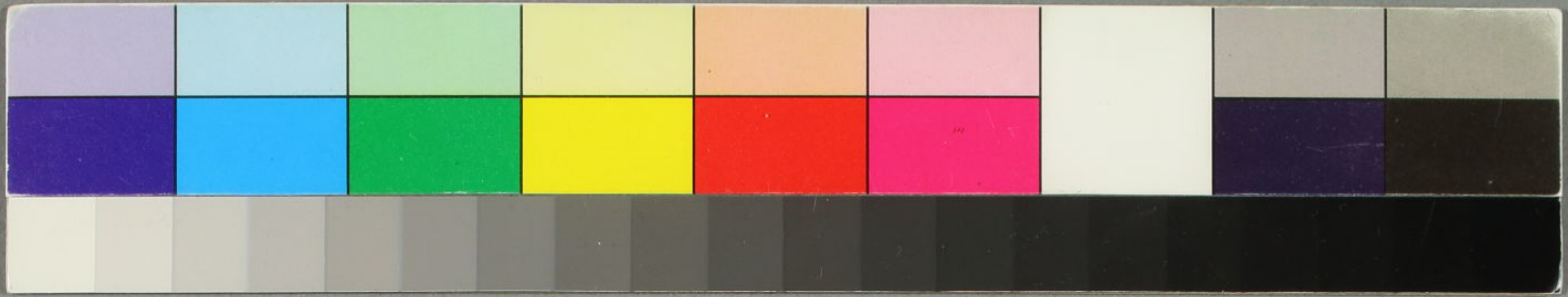
以上

四月十六日

牧平書

中井書





155
15579
15

山形し足

一 慶長十四年六月初日付

伏見より松井佐渡が山形へ

の巻々 三社横山自軍之巻

重之由又之也 羽守在軍巻

仕合が舟上巻振之は中川と

時分城巻稿仕山後何と

中川香春門司本村中津巻稿

止一戸中川城之巻山形福徳

此巻巻と因防之巻おた

中川隠居下と山形之新城之

巻稿山形舟見事たが来仕山

十五



94-409



Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, on aged paper. The text is arranged in several vertical columns, starting from the right side of the page and moving towards the left. The characters are dark and somewhat faded, typical of old documents.

15

特別
リ5
15579
15